

第 186 回ペン川柳（お題＝落ちる・落とす）令和 1 年 10 月 30 日

世話人：塚田 實（^だ ^だ 拿々）

（*印は今月の互選六句、*は最優秀句）

1. 鼻水と落ちる涙で化粧落ち（酔深＝平尾） → 0 票
なるほどそんなこともあるでしょうが、「鼻水」とくるとちょっと綺麗じゃないですね。もう一工夫欲しいところです。
2. 雷を落として悔やむパワハラだ（零門＝松谷） → 1 票
「パワハラだ」が少し浮いている感じがします。雷を落としたことを悔やんでいるほどの表現にすれば良いのではと皆で議論しましたが、良い案が浮かびませんでした。
3. アイドルは化粧落としてシワ数え（我々好＝浜田） → 0 票
アイドルにも昔のアイドルから今のアイドルまで色々あります。これは昔のアイドルのことを詠んでいるのですが、今一つ共感を得られなかったのは残念です。
- * 4. 空の旅落ちる・落とすは皆禁句（酔雅＝西川） → 4 票
世界の空を知り尽くした作者ならではの一句で、一同直ぐ納得しました。上手いですね。酔雅さんは 19 番で最優秀句にも選ばれましたが、これも高得票だったので優秀句とすることにしました。
5. 安い傘美女にひかれてつい落とし（だし＝大野） → 0 票
500 円のビニール傘より、刹那の美女ということでしょうか。男の様子が目に浮かびます。
6. 二階から目薬落とすよな馬券（明迷＝八木） → 2 票
よっぽど倍率の高い馬券で大儲けしようとしたのですかね。でも偶に当たるから、競馬は止められない。下五の「よな」で議論になったが、これは問題なしとの結論に。
7. カツ井と演歌で犯人（ほし）を落とす刑事（でか）（火酒＝三春） → 1 票
ちょっとテレビを見すぎかなという声もあり。確かに刑事ドラマではよくありそうなシーンですね。「演歌」は「演歌調」という意味で、泣きで落とすという意味です。
- * 8. 濡れ落葉払い落とすもまといつく（拿々＝塚田） → 3 票
作者はペンクラブに積極的に参加し、濡れ落葉と言われたいよう頑張っています。でも払い落としてもまといつく人もいますよね。
9. 落ちながらパスをつなぐがオフロード（安兵衛＝山縣） → 1 票
ラグビーワールドカップが好評のうちに終わりました。日本中が盛り上がりました。ペンクラブの創立の頃にはラグーマンが多かったとか、会員の大泉さんもラグーマンだったとか、一時ラグビーの話に花が咲きました。

10. 蹴落として手に入れた地位何か虚し (不言＝岩崎) → 1票
元句は「蹴落とし手に入れたこの地位何か虚し」でしたが、字余りだったので、上記のように直しました。会社生活の悲哀が良く出ていますね。
11. 落としても進歩の跡なし俺は馬鹿 (だし＝大野) → 0票
自虐的な川柳ですね。何を落とすのでしょうか。色んなことが考えられますが、今回は票が伸びませんでした。
12. 選落ちる二度と来るかとペン川柳 (我々好＝浜田) → 1票
いやーごめんなさい。しかし、我々好さんはペン川柳会の重鎮ですから、止めるなんてことは絶対ありません。勉強会でいただくコメントは常に一流ですから。
13. 気になるな昔の友の落ちる先 (損得＝細谷) → 1票
作者が自らコメントされています。「本当は自分の落ちた先を昔の友に知られたくない、というのが本音です」
14. 俺の他落ちろ地獄で糸プツン (井波＝稲宮) → 1票
芥川龍之介の「蜘蛛の糸」からの発想ですね。有名なお話です。もう少し捻りが欲しいところ。
15. 歳重ね記憶力落ち呆け進む (拿々＝塚田) → 2票
元句は「呆けは増え」でしたが、「呆け進む」の方が分かり易いとのことで変更。最近記憶力が日増しに落ちてゆくのが悩みです。
16. 女形ドーラン落とせば二児の父 (火酒＝三春) → 2票
女形でドーラン落とせば、普通のお父さんというのはよくある光景ですね。さて、どの役者さんのことを言っているのでしょうか。
17. ベテランの刑事(デカ)も落とせぬ認知症 (明迷＝八木) → 1票
元句は「…刑事でも落ちぬ…」だったが、上記の方が情景は良く分かると変更しました。認知症の容疑者尋問は大変でしょうね。本当の認知症なら責任能力が問われないかも知れません。
18. 入試でも入社試験も皆落ちた (酔深＝平尾) → 1票
皆それぞれの入試・入社試験の人生ドラマの話に花が咲いた。新日鉄の斉藤英四郎氏の波乱に満ちた七転八起人生も話題になった。
- * 19. 落とすのは昔は女今財布 (酔雅＝西川) → 7票
文句なしに最優秀句に選ばれた。酔雅さんの優雅な過去と今の嘆きが目に見えるようです。満票に近い支持を得ました。
20. 林檎落ち園主は八十路よよと泣く (晃二＝安藤) → 1票
台風19号による千曲川の氾濫でリンゴ農家は多大の被害を被りました。しかも高齢で今後の再建が重くのしかかる姿は我々の胸を打ちました。早期の復興を祈っています。

21. 大失敗筋まで落ちたダイエット (零門=松谷) → 1票
 ダイエットしたら筋肉まで落ちてしまって、体力がもたなくなつて大失敗したといふのは、ありそうなことですね。ダイエットは慎重にしましょう。
- * 22. まゆ玉を前に落とすとノックオン (安兵衛=山縣) → 2票
 これもラグビーネタです。まゆ玉はラグビーボールのことだそうです。今や誰に聞いても「ノックオン」の意味は知っているほど、ラグビーはポピュラーになりました。
23. 汗落とし一杯やる身は極楽さ (不言=岩崎) → 0票
 元句は「一杯やるこの身は」でした。字余りだったので、上記のように直しました。何の汗か分かればもう少し共感も得られたと思います。今一つ捻りが欲しいところです。
- * 24. 落とされてハッと気が付くトリの芸 (井波=稲宮) → 2票
 「取の芸」で議論がありました。落語芸術協会の落語辞典では「トリ」とありました。語源は「ギャラは最後に出る主任格の真打が全て受け取り、芸人たちに分けていた」とのことからきたそうで、広辞苑でも「取り」と紹介されています。それにしても「落とされてハッと気が付く」なんてことはよくありますね。
25. 凡人は落としどころをわきまえず (損得=細谷) → 2票
 これにも作者はコメントを付けています。「落語の名人ならいざ知らず、自分一人で面白がって他の人の発言を妨げるなんて、様になりませんね」
- * 26. 巨星落つせめてなりたや星屑に (晃二=安藤) → 3票
 10月22日緒方貞子さんが亡くなりました。タイムリーな川柳です。国連難民高等弁務官として大活躍された姿は皆の記憶に深く刻まれています。明石康元国連事務次長の活躍にも話は及びました。

出席8名 = 大野ただし(だし)、浜田道雄(我々好)、稲宮健一(井波)、山縣正靖(安兵衛)、安藤晃二(晃二)、平尾富男(酔深)、三春(火酒)、塚田實(拿々)

欠席投句5名 = 岩崎洋一郎(不言)、細谷博(損得)、西川武彦(酔雅)、松谷隆(零門)、八木信男(明迷)

11月以降のお題： 11月26日(火)「鍵」
 12月23日(月)「餌・えさ・エサ」
 1月27日(月)「燃える・燃やす」
 2月24日(月)「火」
 3月23日(月)「水」
 4月27日(月)「歩く・歩む」
 5月25日(月)「風」
 6月22日(月)「傘」